

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会・構成員

平成25年3月27日
平成24年度 第2回
法定協議会での議決資料
(赤字 変更箇所)

事業名	補助対象事業者等	事業概要	事業実施の適切性		目標・効果達成状況		事業の今後の改善点
記載要領	【事業者名及び系統名・航(空)路名・施設名等を記載】 評価は運行系統、離島航(空)路、施設等の別ごとに実施すること	【運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両原価償却費等国庫補助金の交付を受けている場合は、その旨を記載)】	A・B・C 評価	【計画に位置付けられた事業が適切に実施された(されている)かを記載。計画どおり実施されなかった(されていない)場合には、理由等記載】 記載例：計画どおり事業は適切に実施された。 記載例：災害により運航できない期間があったが、事業は概ね適切に実施された。	A・B・C 評価	【計画に記載した定量的な目標数値と結果を記載する。結果が目標を達成できなかった場合は理由等を分析の上記載】 記載例(確保維持事業)：目標30人/日に対して、15人/日であった。(目標を下回った理由等を併せて記載) 記載例(改善事業)：年間利用者1,000人の利便性の向上が図れた。	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載(改善点は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載すること)】 なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨を記載
陸上交通に係る 地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	三重交通 コミュニティバス	地域内フィーダー	A	計画どおり事業は適切に実施された。	C	数値目標について達成できなかった。 イベント時でのPR活動等を実施するが、PR方法のマンネリ化など、利用者が硬直し、新規利用者の獲得に結びつかなかった感がある。	利用促進策を兼ねたアンケート調査を実施し、路線見直しについて検討している。

【各評価項目の評価基準】

事業実施の適切性

- A...事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された(されている)。
 B...事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった(一部実施されない見込み)。
 C...事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった(実施されない見込み)。

目標・効果達成状況

- A...事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)。
 B...事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)。
 C...事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)。